

第50回日本Mテクノロジー学会大会
大会テーマ：「標準化との戦い」

趣意書

企業セミナー・広告

募集のご案内

会期：2022年9月1日（木）～3日（土）

会場：ホテル一宮シーサイドオーツカ
（千葉県長生郡一宮町一宮 10000 番地）

大会長：土井 俊祐（東京大学医学部附属病院）

大会HP：<https://www.mta.gr.jp/mta2022/index.html>

ご挨拶

このたび、日本Mテクノロジー学会では、来る9月に第50回となる記念大会を開催する運びとなりました。本大会のテーマは、「標準化との戦い」です。今大会は「ウィズコロナ」の大会として、千葉・外房の地にてワーケーションをコンセプトに、3日間の日程で開催致します。

当会の前身である「日本MUMPS ユーザーズグループ」が発足してから今年で45年になります。その間、学会名の由来である「MUMPS」は、マルチモデル・データベース・システムとして、刻苦精励の道を歩んできました。先輩方の努力により、1992年には国際標準（ISO標準）に、1995年には日本産業規格（JIS標準）に採用され隆盛を極めてきましたが、世はSQLの全盛期に入り、技術的利点がユーザーに伝わりにくくなりました。学会公式サイトにも示されますように、今日現在では「M言語」をそのまま利用しているシステムは限定的です。しかしながら、本学会が医療情報学会よりも長い歴史をもって活動してきた「テーマ」は、近年NoSQL/JSON構造等の広がりと共に、診療に資する医療データベースとしての合理的な設計と活用法を議論する場として脈々と継承されていると実感しています。

本大会では、標準化にスポットを当て、これまでの標準化への対応の歴史の振り返りとともに、診療情報提供書など4文書の記述仕様が最新の厚生労働省標準となった「HL7 FHIR」を軸に、今後の医療情報システムにおける標準化のあり方について議論を深めたいと思います。もちろんこれに限らず、医療データベース、プログラミングに関する演題を広く取り扱う予定です。また、今大会では当会技術委員会で推進している医療型WebアーキテクチャであるIPCI（In-Process Clinical Intelligence）のコンセプト及び開発方法について、大会企画とチュートリアルで詳細をお伝えするプログラムも企画しております。

2020年以來の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現地にて議論を深める機会も少なかったことと存じます。会場となりますホテルー宮シーサイドオーツカさんは、企業の研修施設としての利用も多く、4階建ての研修専用施設内に収容人数200名を越える大ホールを備えておられますので、ソーシャルディスタンスを確保した開催ができると考えております。ぜひ、「社員研修」「ワーケーション」の一環として、皆様のご参加をお待ちしております。

新型コロナウイルス感染症の流行状況はいまだ予断を許さない状況ですが、出来る限りの感染対策を施し、学術活動という研究者の本分を果たせる大会とすべく鋭意準備を進めてまいります。本大会に込める趣旨をご理解の上、ぜひ貴社にてご支援・ご協賛をいただきたく存じます。何卒ご検討のほど宜しくお願い申し上げます。

第50回日本Mテクノロジー学会大会 大会長

土井 俊祐

（東京大学医学部附属病院 企画情報運営部 特任講師（病院））

開 催 概 要

1. 会議名称

第50回日本Mテクノロジー学会大会

2. 会期

2022年9月1日(木)～3日(土)

3. 大会役員

大会長：土井 俊祐（東京大学医学部附属病院 企画情報運営部 特任講師（病院））

副大会長：鳥飼 幸太（群馬大学医学部附属病院システム統合センター 副センター長・准教授）

4. 開催場所

ホテルー宮シーサイドオーツカ（千葉県長生郡一宮町一宮 10000 番地）

※オンラインウェビナーとのハイブリッド方式

5. 参加予定人数

120名

6. 後援

日本医療情報学会課題研究会 FHIR 研究会

7. 医療情報技師ポイント

本大会の参加により、医療情報技師ポイント・3ポイントが付与されます。

8. 収支予算

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
学会参加費	¥1,330,000	事務局費	¥230,000
協賛金	¥660,000	会場費	¥600,000
		当日運営費	¥250,000
		オンライン配信費	¥400,000
		セミナー費	¥150,000
		謝礼・交通費	¥160,000
		制作・印刷費	¥100,000
		予備費	¥100,000
収入計	¥1,990,000	支出計	¥1,990,000

9. 大会事務局

第50回日本Mテクノロジー学会大会事務局（東京大学医学部附属病院 企画情報運営部内）

E-mail：mta2022-office@mta.gr.jp

企業セミナー・広告募集要項

第50回日本Mテクノロジー学会大会の開催に際しまして、セミナー・広告掲載を募集します。

∞ 論文集への広告掲載 ∞ (申込数制限無し)

カラー 1ページ 50,000 円 (賛助会員は年会費の15%相当を割引)
1/2ページ 30,000 円 (賛助会員は年会費の10%相当を割引)

∞ ホームページバナー ∞ (申込数3社まで)

バナー1式 50,000 円 (賛助会員は年会費の15%相当を割引)

∞ ランチョンセミナー ∞ (申込数2~3件まで)

発表(10分間のご紹介) 100,000 円 (賛助会員は年会費の20%相当を割引)

∞ 休憩時間広告 ∞ (申込数3件まで)

広告(スライド1枚分) 50,000 円 (賛助会員は年会費の15%相当を割引)

※論文集は、「第50回日本Mテクノロジー学会大会論文集」として発行されるもので、大会内容(プログラム)および講演論文を掲載し、当日参加者の他に会員全員に配布されます。(Web参加者用には印刷は行わず、電子データを配布します。)
また、当会のホームページならびに医療文献検索サービス「メディカルオンライン」、JST、国立国会図書館への寄贈等を通じて広く公開されます。

※「ホームページロゴ」は、第50回日本Mテクノロジー学会大会ホームページ(<https://www.mta.gr.jp/mta2022/index.html>)上部のメニュー下に、バナー(250×40px程度)を掲載するものです。ホームページ等へのリンクを貼ることが出来ます。お申し込み後速やかに掲載いたします。

※「ランチョンセミナー(発表枠)」は、第50回日本Mテクノロジー学会大会の会期中(9月2日(金)昼を予定)に10分間の企業紹介を行っていただけるもので、ZOOMを利用したご発表をできることが前提となります。(PowerPoint等の発表資料をご用意いただければ、参加者全員への画面共有をご利用いただけます。動画も可能です。)

※「休憩時間広告」は、第50回日本Mテクノロジー学会大会の会期の休憩時間中、スライドショーの画面を会場スクリーンならびに配信画面に表示するものになります。口頭による説明は行えません。なお、スライドは別途論文集にもサムネイルを掲載いたします。

∞ お申込み方法 ∞

別紙「広告申込書」に必要事項を記載の上、大会事務局(mta2022-office@mta.gr.jp)までe-mailにて送付をお願いいたします。

【申込期限】 令和4年8月23日(火)

∞ データ送付先及び方法 ∞

いずれも送付先は大会事務局宛て(mta2022-office@mta.gr.jp)をお願いいたします。原稿等の送付期限はいずれも令和4年8月23日(火)とします。

【論文集広告】

原稿は原則としてデータ入稿で受け付けております。データの種類は、Microsoft Word、Microsoft Power Point、Adobe PDFのいずれかとなります。

【ホームページロゴ】

原稿は原則としてデータ入稿で受け付けております。データの種類は原則としてJPEG形式で、その他の形式の場合はお問い合わせ下さい。

【ランチョンセミナー発表枠】

トラブルに備え、事前に発表用ファイルを事務局まで送付いただきます。動画等を使用いただく場合は事前テストにご協力をお願いいたします。また別途タイトルと発表者、概要を大会事務局までお知らせいただきます。

【休憩時間広告】

原稿は原則としてデータ入稿で受け付けております。データの種類は、Microsoft Power Point（2013以降で作成したもの）をお願いいたします。

∞お支払いについて∞

大会開催後に請求書をお送りいたしますので、指定日迄に指定口座へお振込みください。なお、銀行発行の振込控をもって、当方の領収書に代えさせていただきます。申し訳ございませんが、振込手数料は貴社にてご負担願います。

∞（参考）第49回大会での応募実績∞

【論文集広告】 1ページ：12件 1/2ページ：1件

【ランチョンセミナー】 2件

【休憩時広告】 3件

計 16社 18件

お問い合わせ先

第50回日本Mテクノロジー学会大会事務局
東京大学医学部附属病院 企画情報運営部内
E-mail : mta2022-office@mta.gr.jp
